

## 教育目的組換えDNA実験計画承認申請書（記入例）

例）

平成 16 年 6 月 27 日

学校長殿

実験指導責任者氏名 齋藤淳一 ㊞

このたび下記のとおり教育目的組換えDNA実験を行ないたいので、ご承認願います。なお実験指導責任者は東京農工大学主催による「2003年度組換えDNA実験教育講習会」において所定の課程を修了しており、また下記の実験は、「遺伝子組換え生物の使用等の規制による生物の多様性の確保の法律」に従い、安全性の確保に十分配慮して実施いたします。

授業科目名	「生物II」			
実験課題名	大腸菌の形質転換			
実験内容	オワンクラゲのGFP（緑色蛍光タンパク質）遺伝子を大腸菌に導入し、形質転換をおこなう。			
実験方法	宿主	ベクター	DNA供与体	封じ込めレベル
	大腸菌 (HB101株)	pGL0 (pBR322由来)	オワンクラゲ ( <i>Aequorea victoria</i> )	P1
組み換え体の廃棄方法	オートクレーブ（高圧蒸気滅菌器）による滅菌			
使用教室	223（生物実験室）			
実験実施期間	平成16年6月30日～7月4日			
実験生徒名	生物II選択者 62名 (詳細は別紙名簿参照)			
添付書類	生徒名簿、実験マニュアル、BIO-RAD社形質転換キットカタログの写し			

上記の願い出について承認する。

平成 16 年 6 月 30 日

東京学芸大学教育学部附属高等学校校長 杉 田 洋 ㊞